

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

コルベンシュミット株式会社

(2) 事業所の所在地

広島県東広島市高屋町郷660番地1

(3) 業種

No.3113 業種名:自動車部分品・附属品製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成21年度を基準年度とし、平成28年度から令和2年度までの5年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度実排出量 (a) 平成21年度	目標年度		計画期間の実績 (上段:実排出量(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))							
		上段:見込量 (b) 下段:削減率 (c)	令和 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	平成 年度	令和 年度	令和 年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス実排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガスみなし排出量											
実績に対する自己評価											

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：生産個数(千個)

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a) 平成21年度	目標年度		計画期間の実績 (上段:原単位実績(d), 下段:削減量の対基準年度比 (e))					
		上段:目標 (b) 下段:削減率 (c)	令和2年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	令和2年度	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	1.90	1.70 -10.5	1.61	1.66	1.61	1.61	1.61	100.0	
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
温室効果ガス排出量総計	1.90	1.70 -10.5	1.61	1.66	1.61	1.61	1.61	100.0	
エネルギー消費原単位 (原油換算k1)	0.72	0.65 -9.7	0.602	0.624	0.617	0.656	0.656	100.0	
実績に対する自己評価	平成30年度と令和1年度を比べると、エネルギー起源CO <sub>2</sub> は、1.605(H30)⇒1.614(R1)前年比0.44%微増した {CO <sub>2</sub> 量: 14,533 t-CO <sub>2</sub> (H30)⇒14,205t-CO <sub>2</sub> (R1)、生産量: 9,047 mil(H30) ⇒8,804 mil(R1)}。微増した要因として①CO <sub>2</sub> 発生量は、昨年比(H30⇒R1) 2.26%減少した <sup>1)</sup> 。②生産数量は、昨年比(H30⇒R1) 2.7%減少した。③設備の更新(アモルファス変圧器、インバータ空気圧縮機)。①~③より、設備は省エネタイプに更新を行い、CO <sub>2</sub> の発生は昨年より発生量は少なかったが、生産量は前年より減少し、原単位に影響した。結果、エネルギー起源CO <sub>2</sub> は昨年比0.44%微増になったと判断する。1)エネルギー消費原単位(原油換算k1):0.617(H30)⇒0.656(R1)と増加しているが、CO <sub>2</sub> 量: 14,533 t-CO <sub>2</sub> (H30)⇒14,205t-CO <sub>2</sub> (R1)は減少している。この要因は中国電力の基礎排出係数の変化(0.000669(H30)⇒0.000618(R1)t-CO <sub>2</sub> /kWh)に因ると推測する。								

※ 削減率(c) = ((b)-(a))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	電気の使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	電気の使用量を対前年比 原単位1%削減 平成29年実績：対前年比3.7%増 平成30年実績：対前年比4.5%減 令和元年実績：対前年比4.4%減	冷暖房装置の適正管理 高効率照明器具への更新 省エネ型電気機器への更新 変圧器統廃合&高効率変圧器への更新 休憩時間の消灯の徹底
2	ガス使用量の削減 (千個当たりCO2換算)	ガス使用量を対年比25%削減 (平成29年達成見込み) 平成29年実績：対前年比0.4%増 平成30年実績：対前年比3.6%増 令和元年実績：対前年比15.7%増	T7熱処理炉の更新 (低炭素工業炉の導入、平成28年) 15,16ゾーンの新設 (新規プロジェクトに対応、平成30年)
3			
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	製品の軽量化	顧客要求に元づく設計目標 の達成	各プロジェクトの製品の実現化への取組み
2	産業廃棄物削減	対前年比 原単位1%削減	分別収集及び資源化の徹底への取組み
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。